

写真オリエンテーリング「横浜ランドマークタワー編」

実施マニュアル

グループで地図上に示されたポイントとランドマークタワーの位置関係を考えながら、渡された数枚の写真の景色が見えるポイントを探します。それぞれのポイントでは、そのポイントでなければ答えを出すことができない課題を解決します。制限時間内に数カ所のポイントを発見し、それぞれのポイントで課題を解決して帰ってくるプログラムです。

1 ねらい

地域の特徴的な景観を再発見する（江戸時代の浮世絵の名所図絵・富嶽三十六景などのように）。ポイントをまわることで参加者が地域の問題や特徴を考える。ポイントを見つけ、問題を解くなかでグループ内での協力関係を築く。

2 対象および人数

- (1) 小学校高学年以上。
- (2) ポイントをめぐる1グループの人数は4～6名。引率者やポイントの数によっては学校の1学年規模でも実施可能である。

3 準備するもの

- (1) ポイントが記されている地図（P.48 資料1 参照）
- (2) グループごとに異なる写真とそれに付属する問題（封筒などに入れる）
（P.49～53 資料2 参照）
- (3) 筆記用具
- (4) 解答用紙（P.54 資料3 参照）

4 プログラム所要時間

ポイントの数やポイントが設定されている範囲によって3～6時間。

- | | | |
|----------------|------------------------|---------------|
| (1) 導入 | ねらい・課題内容・ルールの説明・グループ分け | 15分 |
| (2) 実習 | | 2時間30分～4時間30分 |
| (3) 各グループの結果発表 | | 5分 |
| (4) ふりかえり | | 5分 |
| (5) まとめ | | 5分 |



5 課題

ランドマークタワーを基準として写真のポイントを探す。各ポイントで写真につけられた問題を解く。ポイントは地図に記されているもののうちのどれかである。

- (1) 設定してあるスタート地点から出発し、ゴール地点に帰って来る。
- (2) グループで一緒に写真のポイントを探して問題を解く。
- (3) 写真のポイントは地図に記されているもののうちのどれかである。
- (4) 問題は写真のポイントに行けば、その周辺30mで解ける。
- (5) 写真、それが示すポイント、問題は1グループ5つ程度。
- (6) 問題が1つ解ければ1点。

6 ルール

- (1) グループは全員一緒に行動し、分担して別々に写真のポイントを目指してはいけない。
- (2) ゴールした時間の早い遅いは点数に関係ない。
- (3) 制限時間以内に帰ってくること（地図に戻るのに要する時間を表示）。

7 プログラムの進め方

手順	留意点
(1) 導入 ① ねらい・課題内容・ルールの説明 ② グループ分け ③ 注意事項の説明	<ul style="list-style-type: none">・実習場所に行く前にやっておいてもいい（学校内のロングホームルームの時間など）。・グループごとに座る。・のんびり景色を見ながらグループで一緒に行動する。・制限時間以内に帰ってくる。
(2) 実習の実施 ① グループごとに座って指導者の注意を聞く。 ② グループごとに地図・封筒に入った写真と問題・解答用紙を受け取る。 ③ スタート ④ 写真のポイントを探し、その周辺で問題を解く。 ⑤ ゴール	<ul style="list-style-type: none">・グループで行動すること、スマートフォンなどで情報を収集しないこと、その他ルールを再確認する。・地図の予備を入れておく・スタート前にゴール地点と制限時間を出来れば再確認・徹底する。・必要ならば時間差をつける。・主催者は本部に最低3名待機。あとはポイントが設定された範囲内を巡回する。・早くゴールしても遊びにいかない。

(3) 各グループの結果発表	この後の部分は、実習場所以外でやってもよい。 結果発表
(4) ふりかえり	
① 個人記入	・グループで行動できたか。 ・やってみてどのような発見があったか。
② 共有	・やってみた感想を1人ずつ短い言葉で話す。
(5) まとめ	みんなの発見を分かち合い、問題を更新する。

8 ふりかえり

グループで協力しておこなうことが出来たか。やってみてどのような発見があったか。

9 プログラムの作り方

(1) 参加者に楽しんでもらいたい地域の景観をポイントとして選び、その場所をよく見て考えてもらうために問題をつくる。

(2) 問題やまわる順番などでストーリー性を持たせても良い。

例、横浜とアメリカ

掃部山公園（井伊直弼像）→県立青少年センター（神奈川奉行所跡碑）→JICA海外移住資料館（ハワイ移民の資料）→横浜税関（アメリカ第8軍司令部跡）→横浜開港資料館（日米和親条約締結の地）

(3) 参加者の土地勘や使える時間にあわせて、フィールドの広さ、ポイントの数、写真にポイントの場所名をのせるかどうかなどを決める。いずれにせよ事前の下見は欠かせない。

(4) 事故が起きた時の対処の仕方（連絡法・緊急搬送先病院）を決める。

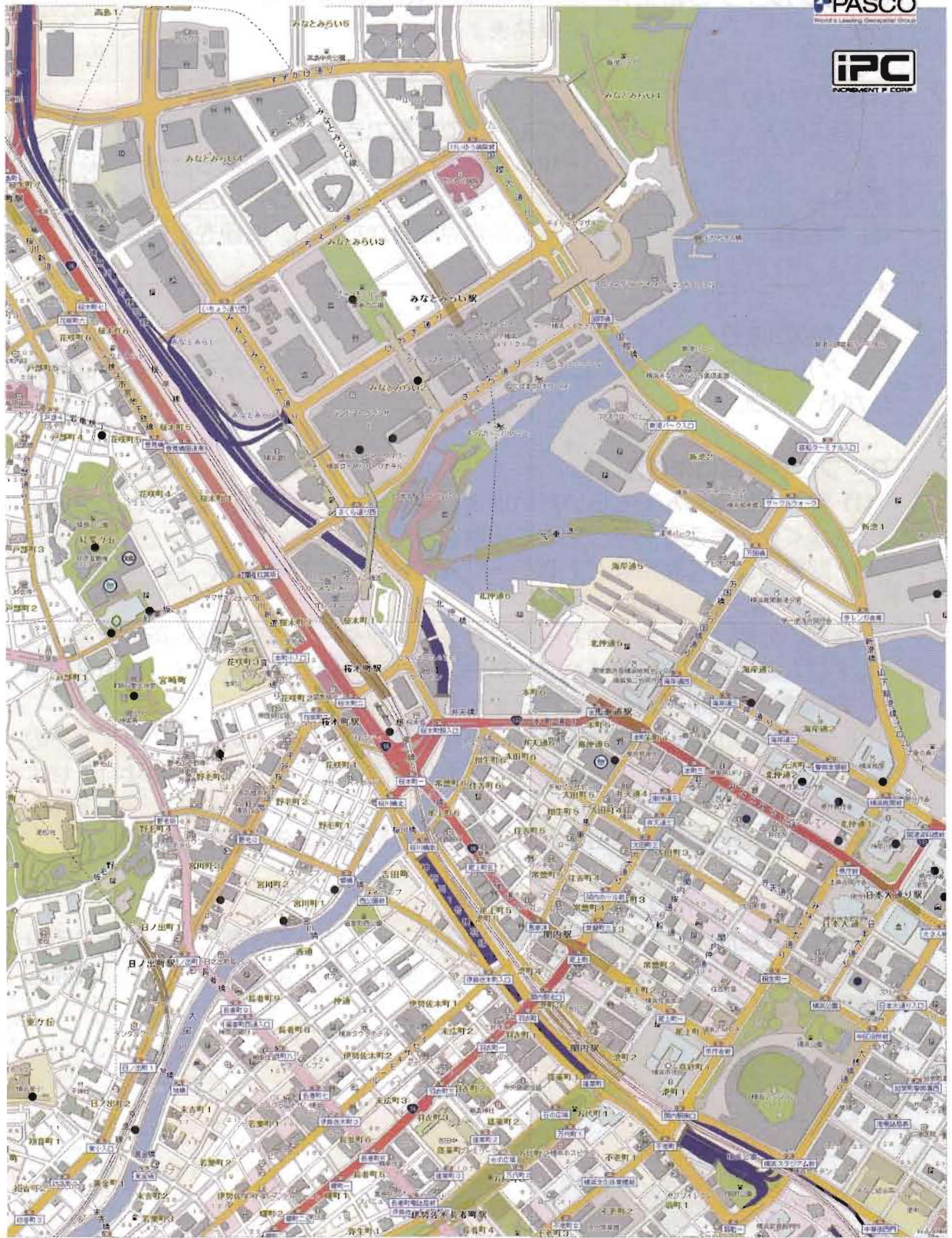
10 プログラム作りで工夫したところ

自然の地形のかわりにランドマークタワーを使ってみたこと。実施する際は地域の特徴的な景観を選んでつくとよい（みんなに印象づけたい景観を選んでつくる）。

(資料1) 使用した地図 ランドマークタワーを見るポイントは、地図上の●のいずれかである。※実際に行う際は、A3サイズの大きな地図を使用すると分かりやすい。

PPASCO
World's Leading Developer Group

IPC
INCORPORATED P. CORP.



(資料2) 写真オリエンテーリング 横浜ランドマークタワー課題(例)

ランドマークタワーからポイントの場所を推定し、課題に答えよう。写真の中にはランドマークタワーが必ず写っている。分からなかったら周囲の人に聞こう。

A 神奈川県立青少年センター

(場所名については、ポイント探しを簡単にしたい時につけるようにする。)



○アメリカとの条約による横浜開港をきっかけとして1859(安政6)年にこの場所に置かれた施設は何か。

B 岩亀横丁



○ここにあるお稲荷さまは最初どのような人々に信仰されていたか。

C 掃部山公園



○これは公園内の銅像の台座である。この銅像が昭和18年に撤去された理由は何か。

D 伊勢山皇大神宮



○絵馬の願い事を多い順に3つあげなさい。

E 野毛成田山別院



○こここの寺で飼われている動物は何か。

F 平戸桜木通り



○ここにある銅像のモデルは誰か？
このあたりにあった横浜国際劇場で
デビューした人物である。

G 日の出湧水



○幕末・明治期に開港場横浜は段階的な埋め立てによって造成された。そのため埋立地である関内・関外などでは良質な水を確保することが困難だった。そこで横浜に来る外国船はどのようにして水を確保したか？

H 桜木町駅鉄道創業の地記念碑



○鉄道創業時、品川～横浜を走っていた蒸気機関車。午後4時に横浜を出た鉄道は何時に品川に着いたか？

I みなとみらい地区



○このオブジェ（工作物）の名前は何か。

J みなとみらい地区



○これは昔のドックを再現したものである。名前は何号ドックか？

K ()



○右下の建物は何か。

L 海外移住資料館 月曜日休み

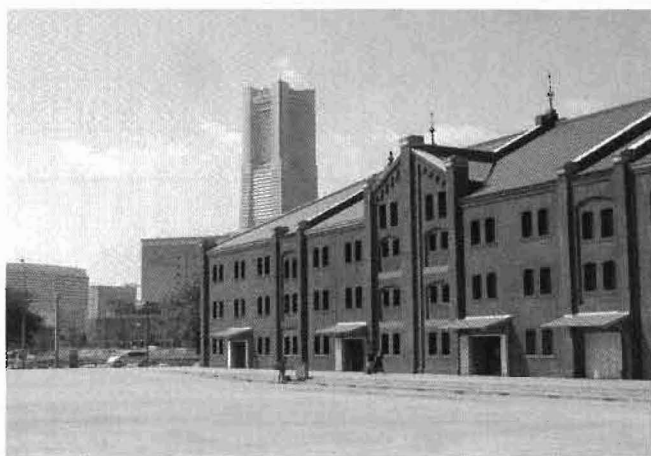


○ 海外移住資料館で探す。日本で一番、海外移民が多かったのは何県か。

○コスモワールドの観覧車のゴンドラの数はいくつか？

- ① 50 ② 72 ③ 80

M 赤レンガ倉庫



○1913年に建てられたこの建物にはスプリンクラーやエレベーターなど当時最新の設備があった。エレベーターは何という会社のものか？

○1911年に出来た建物が2号で1913年に出来た建物が1号なのはなぜか。

N ()



○1945年横浜を占領したアメリカ第8軍の司令部が置かれたこの建物は現在何という施設になっているか。

O ()



○3Fホールのエレベーターの数は何基か？

(資料3) 写真オリエンテーリング 横浜ランドマークタワー編解答用紙 例
※渡された写真が、A、C、F、K、Lの場合

() グループ

問題	解答
A	神奈川奉行所
C	戦争中の金属供出
F	美空ひばり
K	横浜美術館
L	広島県 72

緊急連絡先 090-0000-1111

帰りの集合時間：15:00 集合場所：県立青少年センター

問題が解けなくても時間内に戻ってくることを。